

今後の対応方策

課題 1. 選果施設を中心としたキュウリとナスの産地強化

(対象：中部農業事務所普及指導課)

- 1 選果施設の出荷量増加に向け、選果効率を向上させるための取り組みを進めます。
- 2 栽培経験の少ない農業者等に対する支援は継続しつつ、勉強会の取り組みと産地全体への技術普及等について取り組めます。

課題 2. 集落営農法人等の体質強化

(対象：中部農業事務所普及指導課)

- 1 集落営農法人等の成果指標に対する活動指標等はわかりやすい表現に整理します。
- 2 スマート農業技術の導入は、集落営農組織の経営状況の確認や導入時の費用対効果を見定めたくうえで、導入を支援していきます。
- 3 集落営農法人等の担い手確保は、関係機関で連携し、地域の農業を活性化できる担い手の掘り起こしを進めていきます。
- 4 集落営農法人の体質強化では、高収益作物の導入や耕畜連携の取組を進め、地域全体の活性化を検討していきます。

課題 3. 地域の特性を活かした農業の活性化

(対象：渋川地区農業指導センター)

- 1 次年度は、各分科会の活動を見直し、農業者の生産活動を支援する形になるよう検討していきます。
- 2 次期3か年計画作成にあたり、地域振興作物の推進など農業者への直接支援を課題とするとともに、活性化協議会をとおして市町村・JAとの連携を進めます。

課題 4. 地域で輝く担い手の確保・育成

(対象： 渋川地区農業指導センター)

- 1 渋川農業担い手支援協議会で受入れから定着まで支援できるよう、運営や体制

整備について支援していきます。

課題5. 地域農業を支える多様な担い手の確保・育成

(対象：伊勢崎地区農業指導センター)

- 1 家族経営協定の再確認については、関係機関との担当者会議においてその方法について検討し、締結に向けた支援を行っていきます。
- 2 女性農業者のリーダー育成では、関係機関と連携を図り、若手を含めた女性農業者へ各講座の情報提供を継続的に行うことで、意見交換の場を広げるよう検討していきます。

課題6. 選果場を核とした野菜産地の強化

(対象：伊勢崎地区農業指導センター)

- 1 担い手対策の目標値については関係機関と連携し、引き続き検討したいと考えています。今後も新規講座等を通じ早期の技術習得を積極的に推進します。
- 2 選果場を核とした野菜産地の強化については、今後も道しるべになる「産地ビジョン」を作成し現場の課題を把握しながら、普及計画に反映したいと考えています。